

サバティカル期間における研究経過・成果報告書

2024年 4月 20日	
国立大学法人茨城大学長 殿	
所属・職名 人文社会科学野・准教授	
氏 名 星純子	
下記のとおり、サバティカル期間が満了しましたので、研究経過・成果等を提出いたします。	
サバティカル制度を利用した期間	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日

①研究経過について （利用期間を月単位などに区分して、具体的な研究経過を記入して下さい。）	2023年4月-7月 高雄市美濃区における予備調査・参与観察 2023年6月-8月 高雄市美濃区におけるインタビュー 2023年9月-11月 台北における文献調査、学会発表 2023年12月-2024年3月 高雄市美濃区における調査、成果発表
②研究成果について （目標の達成状況及び研究成果の公表予定について記入して下さい。）	2023年10月、社区营造学会（国際学会）において発表を行った。 2024年1月には大地田野ワークショップで発表を行い、2024年5月末には日本台湾学会で社区营造（まちづくり）に関するパネルを組んで発表する予定である。英語のワーキングペーパーは4月中、政治大学日本研究学位学程の紀要論文が9月ごろに出る予定であり、国内外に研究成果の発表機会を得た。 このように、当初予定していた以上の成果を公表できることになった。